

## 第 98 回神奈川県立座間谷戸山公園 現場研修会報告

—テーマ :水辺環境の順応的管理 —

6月の谷戸山公園研修会は、水辺環境の順応的管理の研修を行いました。  
“園内の水路でホトケドジョウの生息地を守るための管理作業”については、都合により行いませんでした。



6月の谷戸山公園。

この日は、天気にも恵まれ作業日和。  
園内の田んぼでは、ちょうど田植えを行っていました。



今回の研修は、水辺環境の順応的管理。  
ということで、湿生生態園で?茂ってしまったヨシ等の管理作業をしました。



上流池は全体がヨシ等に覆われてしまっている状況だったため、他の湿性植物の生育を促し多様な環境に維持できる様に、水際の移行帯部分を中心に刈りました。この日は、日差しも強く、ヨシ原内は風通しも良くないため、途中で休憩を入れながら作業を行いました。



作業前



作業後

作業前と作業後の写真。

写真は少しわかりづらい角度になってしまいましたが、だいぶスッキリとしました。



刈り取ったヨシ等は、シュロ縄でしっかりと縛り綺麗に整列させてまとめておきます。時間はかかりますが堆肥としての利用や雑草防止などにも利用できます。



区切りが良いところで、お昼休憩。  
里山体験館の近くでは、キビタキのさえずりが聞こえていました。



昼食後は、恒例となった「環境関連」のニュースや気になることについての話し合い。  
参加者が最近行った場所などを元に、地域や環境ごとの植生の特徴で気になったこと、被災地の残された環境の保全の重要性など、色々な話題が上がり予想以上に時間がかかってしまいましたが、それぞれの情報の共有となり有意義な時間になったかと思います。



午後は湿生生態園で補足の植生調査を行いました。  
6区分でリスト化されている今までの資料を元に、まだリストアップされていない種類を記録していきます。



その後は、皆伐更新地区に移動し植物の観察。

全員で手分けして植生調査の結果リストから、そこに記載されていない植物を探しました。

種類がわからないものは講師の石川さんにチェックしてもらいました。



最後は北谷戸の湿地などの園内を一通り回って終了となりました。

これから更に暑くなりますが、8月は多くの生きものたちが見られる季節でもあります。

谷戸山公園にいらしている生きものたちを観察しながら、その生きものの視点になり管理活動を一緒におこなっていきたいと思います。

皆様のご参加お待ちしております！！